

「15 地域・社会のルール・マナーを守る(34)住民としてのマナーを守る」 教案

日時：平成 24 年 11 月 10 日(土) 10 時～12 時

講師：

場所：古河市中央公民館

対象：古河市国際交流協会 初級日本語ボランティア養成講座受講生

教材：『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案教材例集』

項目 15 地域・社会のルール・マナーを守る(34)住民としてのマナーを守る

目標：居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する。また、ゴミの減量について考え、環境保護への関心、意識を高める。

流れ	教材	語彙・表現	活 動
☆ 導入 ゴミの分別について	・ 各国のゴミ箱の写真 ・ 古河市のゴミ分別表、パンフレット、ゴミカレンダー		1. ゴミの分別に関して理解する ・ 様々な国のゴミ箱を見て、母国や日本のものと比較し、話し合い、ゴミ分別に関して興味、関心を高める。 【フォトランゲージ】 ・ 古河市のゴミ分別表やパンフレットを見ながら、ゴミの種類や物品の名称を理解する。
☆展開 1 ゴミ分別の実際	・ タスクシート		2. ゴミ分別の方法を知る ・ 古河市のゴミの分別表やゴミカレンダーを見ながら、収集日や出し方について理解する。 ・ 文化庁教材の「ゴミ分けゲーム」(p181) でイラストのゴミを分別する。【グループワーク】
☆展開 2 環境保護について	・ タスクシート		3. 環境保護への関心、意識を高める ・ ゴミがどのように処理されているかを知る。 ・ ゴミの環境への影響、身体への影響、また地球の将来について考える。
☆展開 3 ごみ減量の 3R について	・ タスクシート	【文型練習】 (辞書形／ない形) ようにする	4. ごみ減量の 3R について考える ・ リデュースについて自分にできることを考える ・ リユースについて自分にできることを考える。 ・ リサイクルについて自分にできることを考える。 ・ 自分にできることを書き出す。【文型練習】

流れ	教材	語彙・表現	活 動
☆展開 4 リサイクルの実際	・マーク、ラベルについての資料 ・実物（ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、紙、牛乳パック等） ・タスクシート	【文型練習】 ～はどういう意味ですか。 （命令形／禁止形／文）という意味です。	5. リサイクルマーク、環境ラベルについて理解し、ゴミ分別の必要性について意識を高める ・マークやラベルについて知る。 ・分からないマークについて質問し、マークの意味を理解する。 【文型練習】 ・実物を用いて、リサイクルマークがどのように表示してあるか確認する。 ・集められた資源がどうリサイクルされるかを知り、ゴミ分別の必要性について意識を高める。
☆まとめ 会話練習	『みんなの日本語初級Ⅱ』第26課 『おしゃべりのたね』 ユニット20	【文型練習】 ・自動詞＋ています ・他動詞＋てあります ・～んです ・～たらいいですか ・あ、そうなんですか ・これから気をつけます 等	6. 会話練習を通してゴミ出しが正確にできるようになる ・「どこへゴミを出したらいいですか」、「ゴミ出しの日を間違えて謝る」という会話を練習する。 ・学習者が自動詞、他動詞表現、～んです、～たらいいですか等の表現を身に付ける。【文型練習】 ・学習者がゴミの出し方について質問したり、ゴミ出しルールを確認したりして、分別を正確にする。【ロールプレイ】 ・応用練習として、実物のゴミを用いて分別し、ゴミ出し体験をする。【シミュレーション】